

お茶とかしようよ。
の「とか」は、
仲良くしたいってことだね。

こんな日本語の「とか」、意味はなんなのでしょう？ 天野先生、教えてください。

「とか」の多用はよく批判されます。でも、「とか」も日本語の中できちんと役割を果たしています。「とか」という一言は、「お茶をしよう」というだけではなく、「映画を観よう」「買い物に行こう」など、ことばには現れていない色々な選択肢を暗示しています。それは、「他のことでもいいよ」という気づかひも伝えているのです。ことばはコミュニケーションのために使うもの。それは時とともに移り変わっていきますが、そこにはちゃんと機能がひそんでいるのです。

今月は天野みどり先生の日本語学でした。来月もお楽しみに。



ひとりを光らせる

和光大学

※現代人間学部 ※表現学部 ※経済経営学部